

支援部だより



宮城県立支援学校小牛田高等学園
支援部
令和6年12月20日発行

「グループホーム」についてご紹介いたします

「障がい福祉サービス」の中の一つで、自立を目指す人が利用しており、実際利用している卒業生もいます。卒業後すぐに利用するケースもありますが、その場合は、在学中からの準備が必要になります。

グループホームの生活は、世話人などのスタッフが食事の提供や家事全般、金銭管理、服薬管理のサポートなどがあるので、安心感があります。

「グループホーム」って何？

SHARE

- 世話人さんに家事や家計のアドバイスをもらいながら、生活していきます。
- 何人かの人と一緒に暮らします。
- 地域のアパート、マンション、一戸建てなどで共同生活や一人暮らしに近い生活をします。もちろん家賃は自分で払うようになります。(住民税0の人には家賃補助があります)



一人暮らしとの違いは？

- 世話人さんがいて、サポートしてくれます。
たとえば・・・生活の相談 お金の使い方の相談
洗濯のサポートや声掛け ゴミ出しのサポート
体調管理 通院の付き添い 薬の飲み忘れチェック など

きちんと分別



お知らせ

スクールカウンセラーによる相談について

1年生の全員面談も終わり、スクールカウンセラー(SC)の和幸先生による相談日も年明け残り2回となりました。

生徒はもちろん、保護者等の方にも御利用いただけますので、担任または保健室まで御連絡いただければと思います。

☆1月30日(木) 10:30~16:30

☆2月5日(木) 10:30~16:30(変更になりました)

1コマ=40~45分としています。

希望人数によっては、相談時間が短くなる場合もあります。



おすすめコミュニケーション ボードゲームの紹介

コミュニケーションゲームとは、自分の考えや感情を言葉などを通して伝えることで、勝利に近づくゲームのことです。言葉や文字といった「言語」だけでなく、表情やジェスチャーなどの「非言語」を使うこともあります。

ゲームを通してコミュニケーションをとることで、「自然と会話ができる」「場が温まる」「一体感が生まれる」などのメリットがあります。

①「キャット&チョコレート」

日常のピンチをアドリブとひらめきで解決し、乗り越えるというゲームです。お題に対して3つのアイテムで解決していきます。みなさんはどうやって解決し、乗り越えますか？



お題: さぼっているところを見つかりそう
アイテム: めがね ネコ チョコレート

例)「ネコが来て、チョコレートを食べようとしたので叱ったら
めがねが外れてフレームがゆがんだから直していたんだ。」
と言い訳する。

日常編

非日常編

あり得ないピンチがテーマの
非日常編もおもしろいです。



プレイ人数: 3~6人 プレイ時間: 20分 対象年齢: 8歳以上です。

②「はあって言うゲーム」

どんな状況での「はあ」なのかを当てるゲームです。声のトーンや表情でコミュニケーションを取ります。
がっかりなのか 怒りなのか 驚きなのか…



プレイ人数: 3~8人 プレイ時間: 15分
対象年齢: 8歳以上です。

③「こころかるた」

かるたなのに絵札がない!? 勝ち負けがない!? 究極の絆ゲームです!!

「話し手」と「聞き手」に分かれてプレイしますが、参加者全員にまわってきます。

- ・話し手…カードの質問に答えます。
- ・聞き手…答えを真剣に聴きます。



お互いを理解し関係性を深める楽しみを味わうカード遊びです。

プレイ人数: 2人以上 対象年齢: 中高生